

## ◆ 平成30年度活動報告シート ◆

団体名：NPO法人 熊谷の環境を考える連絡協議会

21A-12

代表者：会長 栗原 堯

URL : <http://kumakanren09.net/index.html>

---

### 1. 活動が必要とされた状況

暑い街、熊谷に住む私たちにとって暑さ対策の中で比較的容易に取り組めるものとして緑のカーテンの活用があります。市民と行政が連携して取り組むこの事業は街づくりとしても有効です。

### 2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

- ・実施時期：5月末の熊谷市エコライフフェアから平成31年1月末の緑のカーテンによる温度低減効果調査分析結果報告書作成まで。
- ・参加人数：約750人（エコライフフェア、出前講座、CO<sub>2</sub>削減推計作業、カーテンづくり等）
- ・活動内容：当協議会から緑のカーテン用ゴーヤ苗（1000本）、アサガオの苗（300本）、熊谷市からゴーヤ苗（600本）を準備し、それぞれエコライフフェア会場、出前講座会場等で配布、特に公民館の出前講座では、地球温暖化問題と緑のカーテンの有効性を学習していただき、専門家からカーテンづくりのノウハウや管理の仕方について学んでもらった。特に本年はカーテンの有無による温度差からCO<sub>2</sub>削減量を推計するための温度ロガーも増設し、データ精度をより上げることが出来ました。分析結果はモニター協力者やホームページ、広報誌等で広報した。

### 3. 活動の成果

5月のエコライフフェア会場や星宮公民館はじめ4ヶ所で苗を配布、併せてチェックシートによるアンケートも実施しました。本年は幸い天候にも恵まれた中で温度ロガー増設によるモニター精度も効果的で、結果、対象月間（7月～9月）における推計CO<sub>2</sub>削減量は30.6(ton-CO<sub>2</sub>)となりました。



### 4. 今後に残された課題

暑さ対策のための緑のカーテン事業の推進については更なる行政との連携が必要ではと感じております。